

行/事/予/定

1~3月

- 1月18日(日) 第10回山口市駅伝競走大会【山口きらら博記念公園】
- 2月 1日(日) 第15回大歳地区分館対抗ソフトバレーボール大会【スポーツ文化センター】
- 2月 2日(月) 鴻南中学校区地域協育ネット「あいさつの日」
- 2月11日(水・祝) 建国記念の日
- 3月 2日(月) 鴻南中学校区地域協育ネット「あいさつの日」
- 3月 6日(金) 山口総合支援学校 卒業式【山口総合支援学校】
- 3月12日(木) 鴻南中学校 卒業式【鴻南中学校】
- 3月20日(金) 大歳小学校 卒業式【大歳小学校】
- 3月21日(土・祝) 春分の日
- 3月26日(木) 大歳小学校 修了式【大歳小学校】
- 3月26日(木) 鴻南中学校 修了式【鴻南中学校】



おおとしかわの版

Information

■大歳まつりが開催されました

11月2日(日)に交流センター及び駐車場で開催されました。
前日の雨のため、ステージでの催しは中止となりましたが、当日は雨も降らず多くの地域の皆さんが参加され、楽しんでいただきました。



■社会参加章 受章おめでとう!

大歳地区老人クラブ連合会(代表 坪郷芳一さん)が、9月、内閣府から「社会参加章」を授章されました。

これは、地域内において健康づくりや社会奉仕活動に積極的に参加されていることに対し、長寿社会における高齢者の社会参加活動の模範として認められたものです。

おめでとうございます。これから地域の行事への積極的な参加をお願いします。



■大野城市副公民館長連絡協議会の皆さんが視察に来られました!

10月29日(水)、福岡県大野城市の副公民館長連絡協議会(28人)の皆さんが地域づくり視察のために来山されました。

当日は大歳地域交流センターにて、大歳自治振興会代表者会議のメンバーと「自主防災組織づくり」や「自治会への加入促進」を中心にお互いの地域での取組みや課題について意見を交換し、それぞれがこれからの取組みへのヒントを得ることができました。

他の地域の組織の皆さんと意見交換することは、私たちの取組みを見つめなおすとともに心強い仲間ができるようで、こうした経験をより多く積み重ねていきたいと考えています。



編集後記

勝井自治会主催の防災訓練で、AEDを使った救急救命処置を学んだ。といっても、事前に通りの説明を聞いていたにもかかわらず、見るのとするのは大違いで、これでは人の命は救えないなと、気が遠くなった。聞くところによると、専門家消防士等レクチャーを90分受けると、修了証(カード)がもらえるそうです。(もらえるからではなく)みなさんも一度訓練を体験してみてください。(内田)

まちづくり おおとし かわら版 2015.1 Vol.31

“地域の夢”
をかなえよう

あけましておめでとうございませ
本年も皆様方と共に
地域の夢を実現すべく
大歳地域づくりに
取り組んでまいります
どうぞよろしくお願いたします

大歳自治振興会
会長 吉富 滋浩

未年(ひつじ)の年です。
平成27年は「未(ひつじ)」の年です。
未年には平穏な年のイメージがありま
すが、なせひつじなのか由来は不明です。
未は、味(味の意)で、草木の果実が成熟
して滋味を生じたありさまを表してい
ます。



大歳地域交流センターパソコン講座の参加者作品

榎野川土手から見た朝日



毎年恒例 大歳自治振興会の目玉事業

1自治会1事業

今年度も、12自治会(12月19日現在)で、住民同士の交流を深める行事などが実施されています。その中からいくつかの開催状況を写真でご紹介します。



活動紹介①
穂積県営住宅自治会
平成26年7月13日



活動紹介⑤
三代交流もちつき
～粉まみれになって楽しかった～
平成26年10月25日



活動紹介⑥
中矢原自治会
平成26年10月25日



活動紹介②
富田原自治会
平成26年8月9日



活動紹介③
岩富自治会
平成26年8月20日



「おいでよ子ども達ちよるるの会と遊ぼう」



「三代交流事業」
～竹とんぼつくりとソーメン流しを楽しみました～



活動紹介④
7月21日はおとし
黒川市自治会
平成26年9月7日



法界寺 辻田昌次住職の講演
～「いのち」の大切さ、「人への思いやり」～



矢原駅周辺の自転車不法駐輪

矢原駅周辺の住民の方や、通勤通学される方々から、以前から言われていましたが、今回山口市生活安全課と大歳自治振興会安心安全部会で場所等を検討し、具体的な対策としてカラーコーンを設置しました。カラーコーンを設置した後は、1～2回自転車が止められておりましたが、最近では、自転車の放置もなくなりました。



大歳歴史の散歩道 Vol.9

大歳地区の名前の由来となった大歳様は、今は大歳小学校の東側に祀られています。大歳様は豊作の神で、昔は、平野部の水田地帯には多く祀られていたようですが、今はほとんど残っていません。

天保13年、村田清風(長州藩の改革指導者として有名)によって、淫祠解除政策が出され、狐や狸を祀るような怪しげな神仏を撤去するとの名目で、藩の台帳に登録された寺社を基本に、一村(自然村)一社にまで減らそうとするものでした。

このため、寺社堂庵から庚申塚やお地蔵様などまで解除された数は2万2千を超えました。そこには天保2年の天保一揆が稲の穂ばらみ期に獣の皮が側を通ると大風雨が起ころという俗信を引き金にしたことへの警戒感、つまり民衆の民間信仰を統制したいという狙いが透けて見えます。この動きは明治期にも引き継がれ、大歳地区では朝田・河内・馬庭で五の宮、和田・三作・高井で八幡宮のように7つの神社にまとめられ、やがて大歳村に対応する朝田神社一つにまとめられて一段落します。

もちろん、民衆が素直にこんな命令に従うはずがありませんから、撤去しても、すぐ建て直す所が出て、何度も解除令は出されます。民間信仰を藩が恐れたのは、お祭りや講などの形で集落単位の寄り合い

「おとし 勝井自主防災会」消防訓練

11月30日(日)勝井公会堂にて約30人が集い、消防署員を招いての消防訓練を行いました。AEDを使った訓練もあり、いざという時のために平素から訓練をして、心の備えをする必要があると感じました。



大歳様あれこれ

が行われ、集落の結束が信仰上の結束の姿をとることでした。馬庭ではお大師様や権現様など年5回の祭り(=寄り合い)が今も行われていますが、解除令がなければ、各集落で同じような寄り合いが、たくさん行われていたはずで、これを禁止し、祭りを藩が認めた神社の祭りだけに制限することで、民間信仰の根を絶とうとしたのです。

榎野川改修で有名な小郡上中郷の庄屋、林勇藏はこの命令を実行し、撤去寺社等の数を記録に残しています。それによると5箇所あった大歳様は1箇所しか残されていません。大歳地区の大歳様はどうだったのでしょうか。祠もないままだったのか、あっても路傍にぽつんと立っただけだったのではないのでしょうか。しかし、大歳小学校や大歳村の地名の由来となることで、大歳地区では、新に大歳様を大事にしようという気運が起きたと考えられます。幸せな大歳様です。



2013年の「ふるさとウォッチング」で訪れた大歳様